

作問意図

1. 論述問題

(1) 授業実践探究コース問題

授業実践探究コースでは、日々の授業づくりについて実践研究を行っている。現行学習指導要領は高等学校においても2022年度から年次進行で実施されていることから、授業を実践する上で欠かせない学習評価に焦点を当てた。特に、「関心・意欲・態度」の評価は「学びに向かう力・人間性等」の評価として再整理されており、これらをどのように捉えているかを問う問題を出題した。

(2) 子ども支援探究コース問題

子ども支援探究コースでは、様々な背景を持つ子どもたちの支援を研究するために、特別支援教育に関する基礎的用語を押さえておくことは必要不可欠である。そのため、「合理的配慮」、「個別最適な学び」、「個別の教育支援計画」、「校内支援体制」の4つの用語を適切に使用できるかどうかを問う問題を出題した。

(3) 教育経営探究コース問題

教育経営探究コースでの研究は、理論的な部分では「協働づくり」、「組織マネジメント」、「リーダーシップ」の3つの概念が柱となる。そしてそれらが学校運営の中で最も明確な形で発揮されるのが「校内研修」や「校内研究」の運営においてである。そのため、「校内研修」や「校内研究」の運営において、「協働づくり」、「組織マネジメント」、「リーダーシップ」をどのように位置づけるかを問う問題を出題した。

2. 口述試験（場面指導）

近年、外国籍の児童生徒や外国にルーツをもつ児童生徒の数は、年々増加している。このような児童生徒の受け入れは、重要な課題であり、学校においては、きめ細やかな指導の充実を図っていく必要がある。児童生徒が学校で安心して過ごせるよう、受け入れについての基本的な考え方や配慮事項など、学校としてどのような対応が求められるかを問う問題を出題した。